



®環境省  
エコアクション21  
認証番号 0003122

2017年度/第66期

# 環境経営レポート

平成29年1月1日～平成29年12月31日



## BRIDGESTONE

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

本社/群馬県高崎市問屋町西1-5-9

TEL027-363-4366(代) FAX027-361-1840

作成日:平成30年2月28日

《ご挨拶》

当社は、1952年の創業以来、世界第一位のタイヤメーカーである株式会社ブリヂストンの群馬県総代理店（代理店登録番号 41号）として、自動車用タイヤおよび自動車用品の販売を行っております。地球レベルでの環境問題が叫ばれる中、グリーン購入法適合商品も充実してまいりましたので、本業における環境活動にも計画的かつ積極的に取り組んでおります。これまでの成果を纏めましたので、ご高覧いただき、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして参りたいと思います。

平成30年2月28日

**ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社**

代表取締役 橋谷 晋治





## 事業活動の規模

事業所名及び代表者名

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治

本社所在地

〒370-0007

群馬県高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9

TEL 027-363-4366 / FAX 027-361-1840

URL <http://www.bst-takasaki.com/>

### ・営業所所在地

① 問屋町営業所	高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9	TEL	027-361-1836
② 渋川営業所	渋川市八木原 1387	TEL	0279-22-2607
③ 桐生営業所	桐生市広沢町 5-1479-1	TEL	0277-52-1421
④ 前橋営業所	前橋市六供町 1341	TEL	027-260-8686

### ・環境保全関係の責任者及び担当者

代表責任者	:	代表取締役	橋谷 晋治
環境管理責任者	:	総務部部长	染谷 悟
EA21 事務局	:	総務部部长	染谷 悟

### ・事業の内容

ブリヂストン製の自動車用タイヤ・自動車用品・更生タイヤ及び自動車関連用品の卸売業

### ・事業の規模

	単位	2010 年度 (59 期)	2015 年度 (64 期)	2016 年度 (65 期)	2017 年度 (66 期)
主要商品売上高	千円	2,712,700	2,891,650	3,000,315	3,233,321
従業員数	人	46	44	44	44
延べ床面積	m <sup>2</sup>	6,365	6,365	6,365	6,365

・対象範囲 全事業所の全事業内容

・対象期間 2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日

## 環境経営方針

### [基本理念]

私たちブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社は、かけがえのない地球環境のたまものである資源を大切に使い、可能な限り環境へ負荷をかけない経営に心がけ、環境にやさしい当社の環境対応商品を積極的に販売することで、社会の発展に貢献してまいります。

### [基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、事業活動、組替作業、商品配送に関わる環境への影響を考慮し、以下の項目を重点的に推進します。

1. 当社の主力事業である、自動車用タイヤの販売において環境タイヤ「エコピア」を中心としたエコ対応商品を積極的に販売し、環境負荷の低減に努めるとともに、メーカー直送率を高め輸送効率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・ガソリン使用量の削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
3. 事業活動で発生する廃棄物は、その発生を抑制するとともにリサイクルの推進に努めます。
4. 限りある水は、使用量削減のため節水に努めます
5. 資材、機器、備品および用品などのグリーン商品の購入を推進します。
6. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行ないます。
7. 環境方針は、全社員に周知するとともに、各自が役割を自覚して行動出来る様、教育を行い環境に関する意識の向上に努めます。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2008年2月23日制定

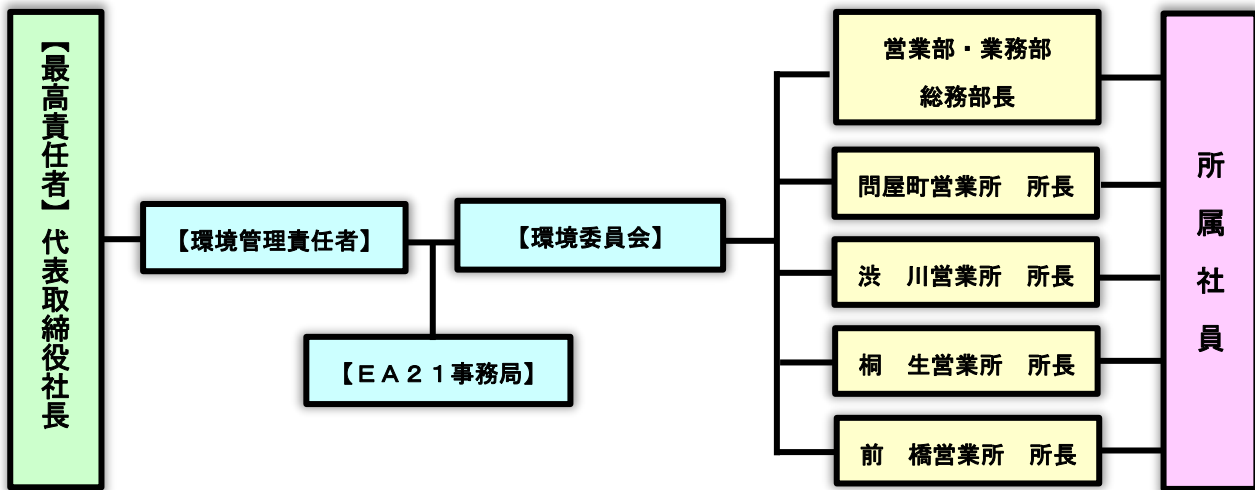
2011年1月31日改訂

2018年2月28日作成

**ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社**

代表取締役 橋谷 晋治

## 取組実施体制および主な役割と責務



職名	役割
最高責任者 代表取締役 橋谷 晋治	環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命し、該当責任者には、現在の責務には関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 環境経営方針を制定し、EA21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。また、構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者 取締役総務部長 染谷 悟	EA21に関する経営諸資源の合理的かつ効果的な運用を図り、目標を達成するために環境委員会を運営する。最高責任者による見直しのため、構築・運用に関する情報を最高責任者に伝達する。EA21審査機関や外部関係者（行政・各種団体等）との窓口業務
EA21事務局	環境責任者を補佐し、EA21に関する実務全般を所管する。 各営業所の月次データを収集し、環境管理責任者に伝達する。
環境委員会	月次環境目標の掲示・環境経営計画の進捗管理について協議をする 不適合項目や各エネルギー等の月次実績におもわしくない箇所がある時は、その原因の確認と削減の方法について話し合う。
環境委員	各エネルギー使用量等を計測し、EA21事務局に報告する。環境経営計画にある環境経営目標達成の為の取組項目の推進と社員の理解度を管理チェックする。 排出物の把握、分別リサイクルの推進、排出物置場の整理整頓。社有車の運行管理表をチェックし、燃費等を把握する。 不適合案件が発生した場合は、環境委員が中心となり改善に向けた活動を行う。
所属社員	環境経営目標達成の為の取組項目を実践して、改善活動の参加意識を持ち経費削減に協力する。

## 環境経営目標と実績

2010年の環境負荷実績を基準年として2017年実績を比較し、次年度以降の中期目標を設定します。

管理実施項目 単位	2010年実績	2017年計画	2017年実績	2018年計画	2019年計画	2020年計画
	前年比	基準年比	基準年比	基準年比	基準年比	基準年比
二酸化炭素排出量 Kg/百万円	100.8	76.8	67.1	66.4	65.7	65.0
	92.6%	76.2%	66.6%	65.9%	65.2%	64.5%
二酸化炭素排出量 Kg	273,377	227,855	216,759	214,600	212,500	210,300
	102.2%	83.3%	79.3%	78.5%	77.7%	76.9%
電力使用量 Kwh	251,100	200,000	184,413	182,500	180,600	178,800
	87.6%	79.6%	73.4%	72.3%	71.9%	71.2%
ガソリン使用量 ℓ	60,480	46,000	40,356	40,000	39,600	39,200
	115.3%	76.0%	66.7%	66.1%	65.5%	64.8%
軽油使用量 ℓ	9,876	15,000	16,921	16,700	16,500	16,400
	110.5%	151.8%	171.3%	169.1%	167.1%	166.1%
水道使用量 m <sup>3</sup>	647	634	604	598	592	586
	91.8%	98.0%	93.4%	92.4%	91.5%	90.6%
可燃ごみ排出量 Kg	2,282	1,346	1,289	1,263	1,250	1,238
	91.9%	59.0%	56.5%	55.3%	54.8%	54.3%
ガス使用量 m <sup>3</sup>	110.7	105.2	98.0	96.0	95.0	94.0
	95.2%	95.0%	88.5%	86.7%	85.8%	84.9%
TLR・RTLRL +LBSR (本数)	2,029	—	3,915	—	—	—
	159.3%	—	193.0%	—	—	—
ECOPIA プレミア ム定番 (本数)	14,980	32,210	32,655	—	—	—
	56.9%	215.0%	218.0%	—	—	—
メーカー直送比率 %	33.3%	43.0%	38.0%	41.1%	—	—
	—	129.1%	114.1%	123.4%	—	—
グリーン購入比率 %	18.0%	25.0%	21.6%	25.0%	27.0%	29.0%
	—	138.9%	120.0%	138.9%	150.0%	161.1%

TLR・RTLRL+LBSR はトラックバス用タイヤ / ECOPIA プレミアム定番は乗用車用タイヤ

電力使用量について、事業者名：東京電力エナジーパートナー(株)、排出係数：0.425 (Kg-CO<sub>2</sub>/kWh) です

## 環境経営目標の取組み実績と評価並びに次年度の取組み

### 電力使用量（Kwh）

2017年**計画比 92.2%**、2010年**基準年比 73.4%**という取組み結果でしたが、本社・問屋町(営)が前年をオーバー、渋川(営)は基準年(2010年)比130.8%とい結果で、次年度は照明のLED化、自動点灯照明への切り替え推進や空調機器の入替も検討した上で、日常の業務で出来る節電を心掛け実践させて行きます。

### 水道使用量（m<sup>3</sup>）

漏水等異常値がほとんど見られなかった結果、**計画比 95.3%**、**基準年比 93.4%**という実績でした。次年度の取組みとしては、引き続き節水指導と水道メーターの月次目視チェックを実施します。

### LPガス・都市ガス使用量（m<sup>3</sup>）

**計画比 93.2%**、**基準年比 88.5%**という取組み結果ですが、使用量は冬場の繁忙期に集中しています。次年度も引き続き無駄な使用を抑えるよう指導して行きます。

### ガソリン・軽油使用量（L）

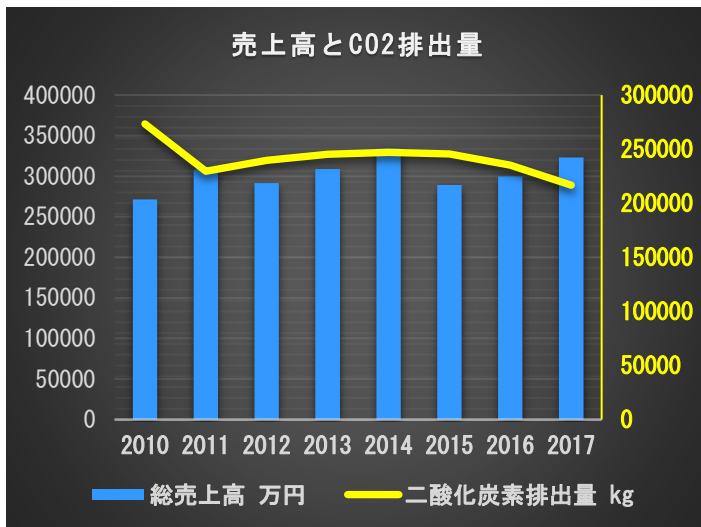
レギュラー・軽油の合計使用量は、57,277ℓで**計画比 93.9%**、**基準年比 81.4%**で、平均燃費を確認したところ、ガソリン車が10.62Km/L、軽油車が8.45Km/Lという取組み結果でした。ハイブリッド車（6台保有）がデータを底上げしているのは確かですが、次年度も引き続き、エコドライブ運転を推進し経費削減に努めます。

### 可燃ごみ排出量（Kg）

排出量は**計画比 93.8%**、84.5Kgの削減、**基準年比 56.5%**、993.3Kg削減の活動結果でした。分別ルール of 徹底、廃棄物置場の整備、廃棄物排出量の集計、裏紙使用ルールの徹底。次年度の取組みとしては、リサイクルとリユースの区別の徹底を図り、更に意識付けをして行き廃棄物排出抑制に取り組めます。

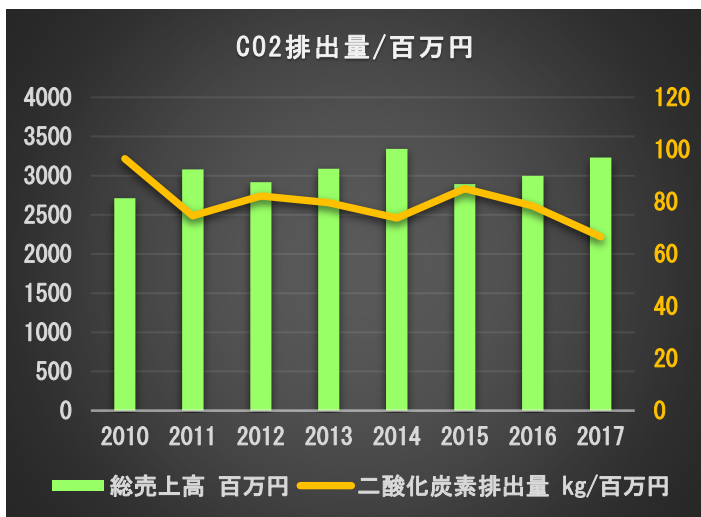
### 二酸化炭素排出量削減の取組み結果

二酸化炭素の排出総量は、**計画比 95.1%** 11,096Kgの削減、**基準年（2010年）比 79.3%** 56,618Kgの削減という結果で売上高百万円当りの排出量についても、計画比87.3% 基準年比較では66.6%となりました。次年度の取組みとしては、温室効果ガス排出量に占める軽油の使用ウエイトが基準年（2010年）の9.5%から2017年は20.5%と軽油車の車両増と比例して高くなっていますので、エコドライブ講習等を行い、燃費向上に努め、他の取組み項目も含めて、総排出量の削減活動を実践して行きたいと思えます。



#### 年度別売上高とCO2排出量の推移

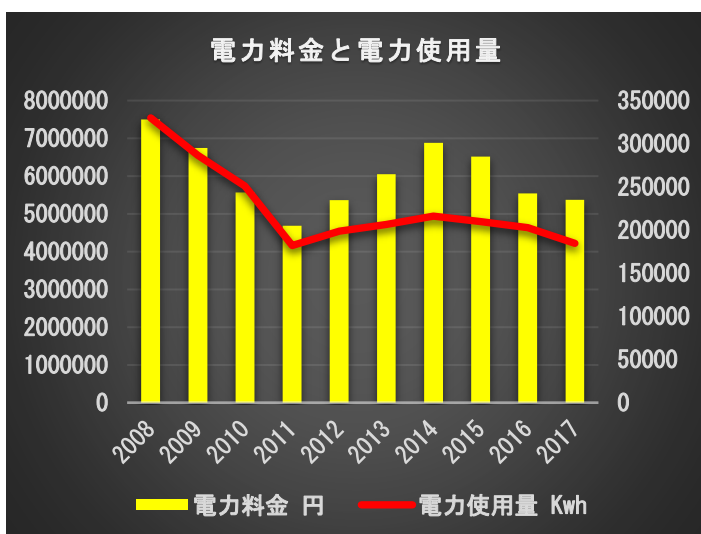
2011年から2014年までは、売上高に比例して二酸化炭素の排出量も増えていきましたが、2015年以降は、一部の拠点で環境対応設備（照明のLED化）に切り替えた効果も反映されましたが、売上高に反比例した実績に変わって来て、昨年のCO2排出量は、ピークの2014年247,239kg比12.3%減で過去最少の実績でした。



#### 年度別百万円あたりのCO2排出量

過去8年の売上高は、3年周期で増減を繰り返しています。

売上高百万円あたりの二酸化炭素排出量も同じサイクルで上下していますが、昨年は、売上高も好調でしたが、それ以上の結果が伴いました。



#### 年度別電力料金と電力使用量推移

EA21 取組初年度の2008年と2017年

との電力の使用料金を比較しますと、

2008年 7,496,131円

2017年 5,373,140円

金額で2,122,991円、率で28.3%の減少  
東日本大震災が起きた2011年は電力料金と使用量とも過去最低を記録しましたが、昨年は2011年に次いで過去2番目の低い実績で終わりました



## 環境経営計画達成の為の取組項目

環境目標	環境活動計画	評価
省エネルギー活動の推進 化石燃料の使用削減	【電力使用量の削減】	
	① エアコンは冷房 26℃、暖房 22℃に設定する	△
	② 部屋や廊下の照明は、退出時は必ずスイッチを切る	○
	③ 倉庫の照明はまめに消灯する	△
	④ エアコンの定期清掃の実施	○
	【燃料使用量の削減】	
	① エコドライブの実践	○
	② 不要なアイドリングはしない	○
	③ 車両担当者は、定期的にタイヤの空気圧をチェックする	○
	④ 不要な荷物を載せたまま走らない	△
節水活動の推進	① 日々節水を意識し、手洗い時、まめに蛇口の開け閉めを実践	○
	② 蛇口は完全に閉め、止まっているか確認する	○
	③ 水道元栓の確認、漏水防止のため毎月メーター確認	○
紙使用量および廃棄物の削減	【コピー用紙の削減】	
	① 印刷前に PC のプレビューで印刷範囲等ミスがないか確認する	○
	② 片面未印刷の用紙は、裏紙用紙として活用する	○
	③ 裏紙コピー用紙の置き場を確認する	○
	【廃棄物の削減】	
	① 分別ルールの徹底（資源ごみと廃棄ごみを一緒にくずかごに入れない）	△
	② 廃棄物の置き場の整理・整頓	○
グリーン購入比率の向上	① グリーン対商品の積極購入	—
	【安全・防災】	
安全・防災	① 火災発生時の役割の確認（防災組織図）	○
	② 消火栓・消火器のある場所の確認	○
	③ 事業所平面図の確認	○
	④ 業者による防災設備点検時に使用方法を練習する	○
社会貢献活動	① タイヤの日 安全啓蒙活動の推進	○
	② 事務所周辺の定期的な清掃を実践	○

事業所全体の取組状況 ○：全体で取り組んでいる △：いま一歩

## 廃棄物の分別ルール of 徹底



### 業務で排出される廃棄物の分別方法

新しいホイールを組み替える時に排出される廃棄物は、ダンボール外箱、中蓋とビニール袋があり、有価資源ごみ・産業廃棄物となるビニールに分別し排出しています。

右側 ビニール袋専用 産業廃棄物  
中央 中敷きダンボール 有価資源ゴミ  
左側 ホイールカバーやラベル 可燃ゴミ

## 電力使用量の削減対策



### 定期的なエアコンのフィルター清掃

フロン排出抑制法に基づき室外機の定期点検も実施  
エアコンの温度設定を寒暖の差によりこまめに調整  
まめな照明の点灯・消灯を励行



## 環境にやさしいドライブと地球温暖化防止のための 10 のポイント

- (1) 環境にやさしいクルマ、タイヤの購入を心がけましょう。
- (2) 計画的にドライブをしましょう。
- (3) タイヤの空気圧をチェックしましょう。
- (4) 不用な荷物を降ろしましょう。
- (5) 暖気運転は適切におこないましょう。
- (6) カーエアコンの設定はこまめに調節しましょう。
- (7) ふんわりアクセルを心がけましょう。
- (8) エンジンブレーキを積極的に使いましょう。
- (9) 不要なアイドリングはやめましょう。
- (10) 環境によい活動でCO<sub>2</sub>を削減しましょう。

4月8日をタイヤの日として、安全啓発活動（タイヤの空気圧不足は燃費の低下に繋がる事 etc）を実施

### 社用車におけるエコドライブ 10 の実践

担当者の車輛の燃費を計測して、燃費向上を目標に、エコドライブ運転を実践

## 町内清掃奉仕活動



### 問屋街クリーン大作戦

10月11日に高崎問屋街88社458人が参加して、高崎卸商社街の幹線道路の清掃活動に参加。

また、毎月第2水曜日は町内一斉清掃デーで事業所周りの草刈りや清掃活動を行っています

### 環境宣言

未来のすべての子どもたちが  
「安心」して暮らしていくために…

ブリヂストンは、お客様やビジネスパートナー、そして社会とひとつになって、  
「持続可能な」社会の実現を目指し、誠実に取り組みます。

そのために、次の3つの活動を行っていきます。



**自然と共生する**  
公害物質の排出や、資源の乱獲など、  
自然環境の破壊に努めます。



**資源を大切に使う**  
再生資源の活用を推進し、廃棄物の削減に  
取り組むとともに、資源の枯渇に努めます。



**CO<sub>2</sub>を減らす**  
製品のライフサイクル全体を通じて、  
温室効果ガスの削減に努めます。

ブリヂストンは事業活動の  
全ての過程で環境活動に  
取り組んでいます。



One Team, One Planet.

地球のために、ひとつになる。  
**BRIDGESTONE**

### 環境宣言

ブリヂストングループの掲げる環境宣言を事業所内に  
掲示して、エコアクション21活動と連動して活動して  
います



## 環境関連法規制の遵守状況

### 適用される主な環境関連法規の遵守状況

環境関連法令	要求事項	関連部署	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の旨の掲示	全拠点	遵守
	収集運搬・処分業者との契約	本社	遵守
	マニフェストの保管管理	本社	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出	本社	遵守
浄化槽法	浄化槽の保守点検	渋川	遵守
	浄化槽法 11 条検査の遵守	渋川	遵守
騒音規制法	特定施設設置届出書の提出	本社	遵守
	騒音規制基準値の遵守	桐生・前橋	遵守
振動規制法	特定施設設置届出書の提出	本社	遵守
	振動規制基準値の遵守	桐生・前橋	遵守
消防法	消防用設備等設置届出	本社	遵守
	消防用設備等点検結果報告書の届出	本社	遵守
	初期消火避難模擬訓練の実施	全拠点	遵守
自動車リサイクル法	社用車のリサイクル費用支払い義務	本社	遵守
	車検時の預託証明書の有無確認	全拠点	遵守
家電リサイクル法	使用済み家電の適正処理	全拠点	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検実施	全拠点	遵守
水銀使用製品廃棄物処理法	指定業者との契約	本社	遵守
	排出方法の遵守	全拠点	遵守
下水道法	下水道への不適切放流禁止の遵守	渋川を除く 拠点	遵守
P R T R 法 (化学物質排出量)	特定化学物質の取扱量の届出 製品安全データシート (MSDS) で有無確認	本社 全拠点	遵守

### 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

2018年1月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、違反、訴訟はありません。  
また、関係機関からの指摘や指導、及び環境に関する苦情等過去3年間においてありませんでした。

《代表者による全体評価と見直しの結果》

前年度に引き続き売上を伸ばす事が出来、各資源の使用量の増加が懸念されましたが、エコアクション 21 活動の趣旨も事業活動に浸透し、目標でもある二酸化炭素排出量が、取組みを始めてから過去最少の数値となりました。

今後は、売上高の増加と二酸化炭素の排出削減（経費削減）の両方で目標達成するよう、必要に応じて、社内インフラ整備をし、社員一人ひとりの環境改善意識が、更に向上するよう引き続き活動を続けて参ります。

以上

平成 30 年 2 月 28 日作成

**ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社**

代表取締役 橋谷 晋治

***BRIDGESTONE***